

第9章 外国語

第1 教科目標、評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

3 内容のまとめ

外国語科においては、学習指導要領の内容の言語活動における「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を内容のまとめとした。

第2 内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

英語

1 目標

- (1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
- (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
- (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
- (4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

2 学習指導要領の内容、内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「聞くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 言語活動

英語を理解し、英語で表現できる実践的な運用能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる。

ア 聞くこと

主として次の事項について指導する。

- (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。
- (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。
- (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。
- (エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。
- (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。

【「聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 様々な工夫をして、聞き続けようとしている。		英語で話されたり読まれたりする内容を正しく聞き取ることができる。 場面や状況に応じて英語を適切に聞いて理解することができる。	英語やその運用についての知識を身に付けている。 言語の背景にある文化について理解している。

【「聞くこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取組) ・相づちをうったりメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。 ・聞いたことについて簡単な言葉や動作などで反応している。 (コミュニケーションの継続) ・相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。		(正確な聞き取り) ・強勢やイントネーション、区切りなどの特徴をとらえて聞き取ることができる。 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) ・話されている内容から話し手の意向を理解することができる。 ・質問や依頼などを聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。 ・まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。	(言語についての知識) ・発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。 ・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 (文化についての理解) ・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

(2) 「話すこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 言語活動

英語を理解し、英語で表現できる実践的な運用能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる。

イ 話すこと

主として次の事項について指導する。

- (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。

- (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。
- (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。
- (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。
- (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。

【「話すこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 様々な工夫をして、話し続けようとしている。	自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる。 場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる。	/	英語やその運用についての知識を身に付けている。 言語の背景にある文化について理解している。

【「話すこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 ・聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 ・問答したり意見を述べ合ったりなどしている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。 ・身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。 	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。 <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 ・尋ねられたことに対して適切に応答することができる。 ・適切な声量や明瞭さで話すことができる。 ・聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。 ・与えられたテーマについて、自分の意見 	/	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音の違いに関する知識を身に付けている。 ・基本的な強勢の違いを理解している。 ・基本的なイントネーションの違いを理解している。 ・基本的な区切りについて理解している。 ・話を続けるために必要なつなぎ言葉や相づちをうつつ表現などを知っている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

	や主張をまとまりよく話することができる。	
--	----------------------	--

(3)「読むこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 言語活動

英語を理解し、英語で表現できる実践的な運用能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる。

ウ 読むこと

主として次の事項について指導する。

- (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。
- (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。
- (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
- (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。
- (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

【「読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	英語を正しく音読することができる。	英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる。	英語やその運用についての知識を身に付けている。
様々な工夫をして、読み続けようとしている。	英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読することができる。	目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。	言語の背景にある文化について理解している。

【「読むこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取組) ・読んだことについて、メモをとったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 ・辞書を活用して読んでいる。 ・積極的に音読している。	(正確な音読) ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。	(正確な読み取り) ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。	(言語についての知識) ・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 ・語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。
(コミュニケーションの継続) ・繰り返して読んだり読み返したりして読み続けている。	(適切な音読) ・意味内容にふさわしく音読することができる。 ・適切な声量や明瞭さで音読することがで	(適切な読み取り) ・あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 ・書かれた内容から書き手の意向を読み取	(文化についての理解) ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景

	きる。	ることができる。 ・伝言や手紙などを読んで、その内容にあわせて適切に応じることができる。 ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。	について理解している。
--	-----	--	-------------

(4)「書くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 言語活動

英語を理解し、英語で表現できる実践的な運用能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる。

エ 書くこと

主として次の事項について指導する。

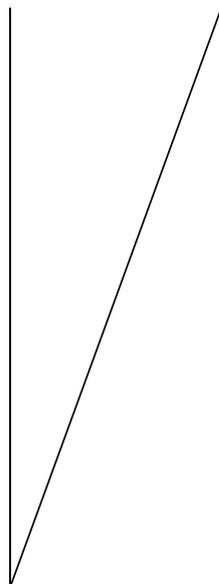
- (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。
- (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
- (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。
- (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。
- (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

【「書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 様々な工夫をして、書き続けようとしている。	自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる。 目的に応じて英語で適切に書くことができる。	/	英語やその運用についての知識を身に付けている。 言語の背景にある文化について理解している。

【「書くこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取組) ・間違ふことを恐れず積極的に書いている。 ・読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりし	(正確な筆記) ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。	/	(言語についての知識) ・文字や符号を使い分ける知識を身に付けている。 ・文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。

<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書を活用して書いている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> うまく書けないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。 	<p>(適切な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。 感想や内容に対しての賛否に加えてその理由を書くことができる。 内容的にまとまりのある文章を書くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭、学校や社会における日常の生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。
---	--	--	---